

飛行機突入させ

台風24号を調査

名大など、気圧や風速

名古屋大学の坪木和久教授らは、強い勢力を維持したまま日本を縦断した台風24号の中に飛行機を飛ばし、気圧や風速などの計測に成功した。観測データはリアルタイムで気象庁などに送り、台風の進路予測に使われた。2020年度までに

9月下旬の4日間、フ

イリピンなどから1日ご

とに飛行機を飛ばし、台

風の中に合計6回突入し

た。風速や気圧などを測

る機器を計64個、台風の

中に落として観測した。

9月25日に沖縄県南の

海上にあった台風の中心

気圧は約915hpaと非

常に強かった。その後、

勢力を弱め、台風の目を

直径約200kmに広げ

た。

これまでは気象衛星の

画像から予測していた

が、数日後の実際の観測

データと誤差があった。